

経済前提の設定に用いる経済モデルについて (さらにご議論を深めていただきたい論点)

- コブ・ダグラス型生産関数は供給サイドからのアプローチであるが、需要サイドからのアプローチも考えるべきではないか。
 - 需要サイドからのアプローチを具体化すると、どのような方程式に基づく経済モデルとなるか。
 - 需要サイドからのアプローチにより、物価上昇率を内生変数として取り込めるか。
- 海外の経済動向も踏まえるべきではないか。
 - 具体的には、経済モデルにどのように織り込めば良いか。
 - 将来の海外の経済動向(経済成長率)を具体的にどのように設定すれば良いか。
- 経済モデルを用いる対象期間をどうするか。それ以後の期間の経済前提をどう考えるか。
- 経済成長率などについて、政府の政策目標とはどういう関係にあるべきか。
- 将来の長期金利を利潤率との関連性をもとに推計してきたことについて。
 - この方法は適切か。長期金利と利潤率の関連性はどのようなのか。
 - 他のアプローチで長期金利を推計する方法は考えられないか。
- 平均的な経済前提を一定と設定せず、変動を織り込んだ前提とするべきではないか。
 - 変動の幅および周期を具体的にどう設定すれば良いか。
- 足下の経済前提と長期の経済前提を分けて考えるべきか否か。
 - 内閣府「経済財政の中長期試算」をどのように取り扱うべきか。